

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

自ら学ぶ賢い生徒の育成  
～関心・意欲の向上から基礎・基本の定着をめざして～

＜本年度の学力向上策＞

◆学校で選択して拡充する教科として数学を設定し、その実施について以下のように行い基礎・基本の定着をはかる。

(1) 「放課後若木タイム」

- ・定期テスト前部活動停止期間、帰りの会を含む20分間に数学の「サポートテスト(小テスト)」の実施(年間計15回)

(2) 「若木タイムチャレンジテスト」

- ・公開なしの土曜授業と2学期当初学年内授業に、50分間の「チャレンジテスト(復習テスト)」の実施(計3回)

(3) 「大会中若木タイム」

- ・新人体育大会、学校総合体育大会期間中の学年内授業で、計4回の数学の授業を学年ごとに設定

(4) 学年内授業での数学の優先的实施

- ・公開ありの土曜授業と学期始め・終わり等での学年内授業で、各クラス数学の授業を2回以上実施

◆授業でのICTの積極的活用

- ・導入時、実物投影機などの視聴覚教材を利用し、興味・関心を高め、意欲の向上につなげる。

◆アクティブ・ラーニングの積極的実践

- ・生徒同士の教え合い活動を中心とした授業実践やスモールティーチャーを活用し、生徒が主体的かつ意欲的に取り組めるようにすることで学力向上につなげる。同時に、コミュニケーション能力や主体性といった基礎的な人間力の養成も期待できる。

＜本年度の振り返り＞